学校番号	３００１

令和５年度　環境緑化科

教科	農業	科目	造園技術	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書							
副教材等	「造園施工必携」（日造連）「日本の庭園」（ﾗｲﾌｻｲｴﾝｽ）「五感で楽しむ樹木図鑑」（ナツメ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

農業の造園や環境分野の入門として基礎から体験的に知識と技術を学べる科目です。実習等を通じて、目的に応じた作業を適切に実施するための、基本的な計画力や管理能力を養います。本科目は２・３年の様々な専門科目や資格取得へとつながる基本となる科目です。

２　学習の到達目標

・造園の施工と管理に必要な知識と技術を習得する。
・造園の特質と造園管理の特性を理解する。
・用具を適切に取り扱い、安全に施工・管理する能力と態度を培う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	造園における基本的な管理や施工についての知識、技術を身に付け、作業を合理的に計画し、その知識、技術の体系を理解し、適切に活用している。	造園における基本的な管理や施工技術に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、課題を適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	造園における基本的な管理や施工技術に関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組むとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	造園施工総合実習 造園管理総合実習	造園施工の知識と技術 導入授業 ・実習着の着用 ・実習器具・用具 ・整理整頓 ・洗浄・保管管理 ・作業安全 造園管理の知識と技術 ・庭園の管理 ・除草・清掃 ・作業安全 ・環境保全	a:時季に応じた造園施工と管理について基本的な知識、技術を身に付け、その技術を活用している。 b:時季に応じた造園施工と管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c:時季に応じた造園施工と管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	・学習状況の観察・レポート ・実習記録簿	・学習状況の観察・レポート ・課題の内容	・学習状況の観察　自己評価 ・課題の内容　・レポート
2学期	造園施工総合実習 造園管理総合実習	造園施工の知識と技術 ・結束、敷石 ・造園植栽管理 ・ 造園管理の知識と技術 ・園路・芝生地 ・植栽地管理	a:時季に応じた造園施工と管理について基本的な知識、技術を身に付け、その技術を活用している。 b:時季に応じた造園施工と管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c:時季に応じた造園施工と管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	・学習状況の観察・レポート ・実習記録簿	・学習状況の観察・レポート ・課題の内容	・学習状況の観察　自己評価 ・課題の内容　・レポート
3学期	造園施工総合実習 造園管理総合実習	造園施工の知識と技術 ・整地工 ・位置出し ・縁石工 ・敷石工 ・支柱工 造園管理の知識と技術 ・たい肥管理	a:時季に応じた造園施工と管理について基本的な知識、技術を身に付け、その技術を活用している。 b:時季に応じた造園施工と管理における諸課題を発見し、その改善を図るために思考を深め、判断・表現している。 c:時季に応じた造園施工と管理に関心を持ち、意欲的に学習に取組もうとしている。	・学習状況の観察・レポート ・実習記録簿	・学習状況の観察・レポート ・課題の内容	・学習状況の観察　自己評価 ・課題の内容　・レポート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度